令和7年度(2025年度) 熊本県教育功労(優秀教職員)表彰 決定者功績一覧

【教職員】 マスター部門(49歳以上)

No.	氏名	学校名	職名	主たる	功績の概要
1	上野 康代	宇城市立松橋中学校	養護教諭	学校保健	●安心安全で心安らげる居場所としての保健室経営 心安らげる居場所として、けがや病気への対応のみならず生徒同士のトラブル、不登校、特別な支援が必要な生徒の実態を把握し、寄り添った保健室経営により、生徒、保護者、地域、職員から多大なる信頼を得ている。生徒指導、不登校等様々な課題や特別支援教育コーディネーターの役割に真摯に向き合い、保護者や職員への適切な助言を行いながら、多くの課題を解決に導いた。優れた実践は、「令和6年度宇城教育」の「指導技術等紹介プロジェクト~ベテラン教師の実践に学ぶ~」で紹介され、高い評価を受けた。これらの実践により、職員はもとより生徒、保護者、地域から信頼を得ている。
2	大山 道弘	玉名市立玉南 中学校	教諭	生徒指導	●生徒指導を通した人材育成に優れた指導力 学年主任、担任及び生徒指導主事として生徒・保護者との信頼関係を構築し、学習な どに前向きに励む生徒の育成に努めている。生徒との関わり方や保護者対応等を他職 員にも助言するなど人材育成に寄与しており、生徒が主体的に活動できる保健体育の 授業づくりにより、毎年ほぼ全員の生徒が「意欲的に授業に取り組んだ」と答えている。 体育主任・部活動主任として陸上部だけでなく他部活動担当者への指導、玉名市部活動地域移行検討委員、小学校教員への陸上指導など小中連携の取組にも貢献している。勤務校は令和3年度から県体力向上優良校を4年連続受賞している。
3	後藤 昭代	菊陽町立菊陽 中部小学校	養護教諭	学校保健	●健康教育について優れた指導力 令和4年度は県養護教諭研究会の副会長、令和5年度からは2年間会長を務め、県 内小中学校の健康教育の充実・発展に寄与するとともに、養護教諭全体の資質・能力 の向上を図ることを目的とした研修会の企画及び運営に携わった。これまでの功績が 認められ、令和7年度熊本県学校保健会の表彰を受けた。菊池郡市においては、平成 30年度に学校保健会の事務局を務め、管内の健康教育の推進に尽力した。長年、勤 務する学校の歯科保健に力を入れ、う歯の治療率を高めるための実践に取り組み、例 年成果をあげている。
4	石川 登	小国町立小国 中学校	教諭	部活動	●部活動(ホッケー)指導に優れ、部活動の地域展開を推進 平成6年に男女ホッケー部を創設以来19年間、ホッケー部顧問として指導にあたり、 U-16男子日本代表の監督、コーチも務めた。平成14年と平成16年に県代表として 全国優勝をはじめ、全国大会で数多く上位入賞を果たし、その指導力は極めて高いも のがある。現男子日本代表の監督をはじめ、オリンピックや日本代表選手を多数輩出し ており、長年の指導により「ホッケーの町小国」として地域に多大な貢献をしている。現 在、部活動地域展開の主査として、地域人材の育成を進めており、地域展開の模範的 な取組を推進している。
5	洲上真理子	益城町立広安 西小学校	主幹教諭	特別支援教育	●特別支援教育の推進と主幹教諭として優れたリーダーシップ 教育への情熱や使命感を高く持ち、人権感覚に優れ、深い愛情を持って児童に接している。令和5年度から主幹教諭として校長・教頭を補佐するとともに、学校運営のための4推進委員会をまとめ、各部長に指導・助言等を行い学校運営及び人材育成に優れたリーダーシップを発揮している。特別支援教育コーディネーターとして、児童の困り感やニーズに応じた支援や保護者の思いや願いに寄り添った対応を行っている。また、学級担任への支援、関係機関との連携、校内支援体制の確立、ケース会議開催等、包括的に特別支援教育を推進している。
6	笹尾 洋一	八代市立第一 中学校	指導教諭	学習指導	●スーパーティーチャー(数学)としての優れた指導力 長年、数学科の指導で力を発揮し、生徒の学力向上に寄与するとともに、県下の数学 科教育振興に大きく貢献してきた。また、県教育委員会指定の道徳教育研究推進校や 県教育委員会指定「子どもたちによるいじめ防止推進事業」の指定校において、研究主 任としてリーダシップを発揮し、成果をあげてきた。八代市教育委員会委嘱「ICT教育推 進モデル校」において、ICT教育を通した主体的に学ぶ生徒の育成に尽力するなど、学 習指導に関する功績が著しい。現任校では、教務主任としてICTを活用した授業改善に 取り組んでおり、指導教諭として管内外の人材育成にも貢献している。
7	井島 京子	水俣市立袋小学校	教諭	その他(人材育成)	●教務主任等の経験を生かした優れた指導力と人材育成 複式担任、理科・家庭科・音楽の専科教員、特別支援学級担任等を経験し、あらゆる 場面で高い指導力を発揮してきた。これまで、文部科学省指定「外国語活動における教 材の効果的な活用等に関する実践研究事業」等で、研究主任として教職員の指導力向 上と授業改善を先導し、教育実践の質の向上に寄与した。また、13年間の教務主任の 幅広い知識と経験を生かし市教務主任会部長を務め、市内全体の連携・強化にも寄与 している。近年は、その豊かな経験と教育的愛情を生かし、初任者や若手教職員への 助言・支援を行い、信頼を得ている。

No.	氏名	学校名	職名	主たる 功績分野	功績の概要
8	酒井 奈子	湯前町立湯前 小学校	指導教諭	特別支援教育	●スーパーティーチャー(特別支援教育)としての優れた指導力特別支援学級担任として、児童ー人一人の特性に応じた指導と支援により、児童や保護者から信頼されてきた。勤務校では、特別支援教育コーディネーターとして、校内のインクルーシブ教育(障害がある児童、ない児童が共に学ぶ教育)の推進のための基礎的環境整備、合理的配慮等、特別支援教育の推進に貢献している。令和5年度以降、スーパーティーチャー(特別支援教育)として、管内の特別支援教育連携協議会、リーダーコーディネーター等研修会、各学校の校内研修の講師として優れた指導力を発揮し、地域全体の特別支援教育の充実に寄与している。
9	山西 浩徳	天草市立本渡 南小学校	教諭	部活動	●優れた吹奏楽の指導と音楽の授業力 吹奏楽部活動において長年にわたって小学生の心の成長を一番に考えて指導を行っ てきている。そして、その卓越した指導力で児童の演奏技術と協調性を飛躍的に向上さ せ、これまで勤務した学校で5回、現任校で1回熊本県の代表として、九州吹奏楽コン クールに出場している。また、音楽の授業では、積極的にICTを活用するなど創意工夫 に富んだ指導で児童の音楽的感性と表現力を豊かに育んでいる。部活動と教科指導 の両面で顕著な成果をあげており、その熱意と実績は他の教員の模範となっている。
10	弘 孝昌	熊本県立第二 高等学校	教諭	学習指導	●県下全域に及ぶ美術教育のトップランナー本県唯一の美術科で主任として多岐にわたる教育実践を展開している。質の高い授業は生徒からの評価も高く、学習指導要領に則った指導を徹底しており、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)校での科学と芸術、デザインを融合した教育や理数科「科学芸術」の推進等、先進的な取組で生徒の探究心を刺激している。難関藝術大学等への進学実績も豊富で、「夏季二高ゼミ」を独自に企画し、実技力向上を強力に支援している。また、文部科学省主催の協議会への参加、本県の研究協議会での助言等、県全体の美術教育の発展に多大に貢献し、その指導力は非常に高い。
11	吉迫 知也	熊本県立水俣 高等学校	教諭	関係機関連携	●産学官が連携した全国初の半導体人材育成教育カリキュラムの構築 全国初の半導体に関する学科の新設に当たり中心となって取り組んだ。水俣市や半 導体企業、大学等と連携・一体となった半導体人材育成の教育カリキュラムの作成に 向け、企業、大学等と多くの対話と協力を得て実現した。常に最先端の技術等を追求す る半導体分野においては、産業界等と連携した教育活動が重要であることをいち早く認 識し、他の職員の意識改革にもつなげ、企業や大学での実習や視察を多くいれるなど、 産学が連携した「本もの」を体験できる実践的な教育活動が展開できるように尽力し た。
12	岩坂 大輔	熊本県立菊池 農業高等学校	教諭	関係機関連携	●地域の課題を学習活動に結びつけた探究学習と、幅広い業種・分野との交流・連携 菊池地域の環境問題をテーマに、放置竹林の整備、竹の活用、有機発酵肥料の段 ボールコンポストの活用と普及活動、タケノコの消費拡大のためのレシピ開発などを行 政、地元企業やNPO法人、大学等とも連携し、継続した地道な普及活動に取り組んで いる。また、学習活動の一環としてもSDGs研究班を中心に高校生が中心となり持続可 能な研究活動としても積極的に活動している。令和7年度には、日本農業新聞「記事活 用エピソード」学生の部最優秀賞、産直ドミノ基金アワード2024CEO特別賞を受賞した。
13	谷口 賢一	熊本県立熊本 聾学校	教諭	特別支援教育	●聴覚障がい教育における優れた指導力 数学科の教員として長年教壇に立ち、大学を目指す生徒から数学の基礎が十分に身 についていない生徒まで幅広く対応し、理解しやすい授業の工夫と丁寧な指導を通じて 学習意欲を引き出した。生徒の卒業後の進路を見据えた選択コースや選択科目の設 定、さらには学校設定教科や学校選定科目の開設に努め、高等部の教育課程の充実 に大きく貢献した。また、その姿勢は若手教員にとって模範となっており、初任者研修の 指導教員を複数回務め、高等部聴覚障がい教育の専門性継承と若手教職員の育成に 尽力している。
14	金澤 姿子	熊本県立黒石 原支援学校	教諭	特別支援教育	●特別支援教育における優れた指導力 常に子供や保護者に寄り添い、発達障がい児から重度重複障がい児まで、障がい特性に応じた的確な指導支援を実践してきた。平成22年から熊本県こども総合療育センターに参事として2年間赴任し、医療関係者等を含めた専門家と共に巡回相談等に尽力した。平成26年には、開校した熊本かがやきの森支援学校の小学部主事として、学校創設期に職員を牽引した。現在も学部主事として、保護者等との信頼関係の構築及び教職員の人材育成に情熱を注ぐと共に、大学の外部講師を務めるなど、特別支援教育の充実・発展に寄与している。

【教職員】 フレッシュ・キャリア部門(48歳以下)

No.	氏名	学校名	職名	主たる 功績分野	功績の概要
1	村上 歌奈子	宇城市立小川小学校	教諭	学習指導	●児童主体の質の高い授業実践 国語科を中心に児童の「問い」を大切にし、単元のねらいに沿って児童の意見を引き出したり、導いたりしながら、児童が主体的に学ぶ授業を行っている。令和3・6・7年度の3年間にわたり、宇城教育事務所の学カ向上ワーキング・グループ(社会)のメンバーとして授業研究や実践発表等に取り組み、宇城管内の授業改善に向けた取組の推進に貢献している。令和4年度人権教育研究指定校研究発表において、研究の充実に努めた。他にも県小学校社会科研究大会や県小学校特別活動研究大会、人権学習、各種研究会等で代表として質の高い授業を公開してきた。
2	松下 彩子	宇土市立花園 小学校	教諭	特別支援教育	●特別支援教育を中心に優れた指導力 学級担任や特別支援教育コーディネーターとして、常に児童・保護者に寄り添った教育活動を行っている。特別支援教育の視点のもと、子供同士が話し合い、共に尊重し合いながら協働して課題を解決する場を多く設け、自己有用感が高まる学級づくりに努めてきた。特別支援教育コーディネーターとして、日々職員との懇切丁寧な連絡・調整により、スクールソーシャルワーカー等外部機関を活用した校内の支援体制を構築してきた。このような学校全体を見渡した支援体制は、合理的配慮や自立に向けた支援の在り方をより深く考える場となるとともに、職員の資質・能力の向上にも大きく寄与している。
3	馬塲 一雅	宇土市立鶴城 中学校	教諭	生徒指導	●生徒指導、生徒会活動に優れた指導力 管内外の学校で15年間生徒会活動担当を務めた実績があり、教育的愛情を持ち、生徒一人一人が、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくり等に参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てようと取り組んできた。また、丁寧な生徒指導に努め、周りの職員と対話を重ね、連携を大切にしながら、学級、学年を中心に粘り強く生徒を大切にした生徒指導に取り組んでいる。保護者への関わりにおいても、保護者の立場を理解し、家庭に寄り添った支援等を行うことで、信頼関係を構築している。学年主任としても学年全体をひとつにまとめ、職員から厚い信頼を得ている。
4	橋本 太郎	玉名市立大豊 小学校	教諭	学習指導	●校内研修の充実及び授業改善に優れた指導力 複数の勤務校で研究主任として、児童が互いに教え合ったり学び合ったりする授業を 目指し、授業の充実を図ってきた。令和4年度から2年間、玉名市教育委員会研究指定 校事業に係る「学力充実研究推進校」の研究主任として、個別最適な学びの充実を図 るために、ICT機器を有効活用した授業について提案するなど、優れたリーダーシップを 発揮した。更に算数教育においては、九州地区の研究発表会等で発表者を務めるな ど、地域における算数教育の充実に関して主導的な役割を果たしている。
5	内田 正典	山鹿市立山鹿 中学校	教諭	生徒指導	●生徒指導及び教科体育に優れた指導力 生徒指導主事の経験等により、管理職や他教職員、関係機関との連絡調整が適切 であり、組織的な指導体制の核となって学校運営に参画している。教育に対する熱い 情熱と自ら学ぼうとする意欲が高く、生徒に寄り添いながら教育活動を推進している。 保健体育科教員として、生徒が興味関心を引くような実技指導の工夫とともに、養護教 諭と連携する等して保健学習の充実を図るなど、生徒の主体性を育む授業を展開して いる。山鹿市中学校体育連盟の副理事長も担い、学校体育のリーダーである。
6	松永 真理	合志市立南ヶ 丘小学校	教諭	特別活動	●特別活動を生かした優れた学年・学級経営力 以前から担任、近年は学年主任兼担任として、「認め、ほめ、励まし、伸ばす」という県教育行動指標を念頭に、学級づくり、学年集団づくりに尽力してきた。特に本年度は、運動会等の学校行事への取組を、児童を主体とした学級や学年での話し合い活動により高学年の自主性を引き出し、一人一人の活動への関わりを充実させることで集団への帰属感や学校のリーダーとしての意識を高めた。また、特に児童会の委員会活動の充実に向けて児童と共に取り組み、児童集会等において児童の変容を学校全体に示すことで学校活性化の主導的な役割を果たしている。
7	熄野明日香	菊陽町立菊陽 西小学校	教諭	学習指導	●ICT機器を効果的に活用した優れた学習指導力 令和4年度から3年間、情報教育主任として優れたリーダーシップを発揮し、コロナ禍 においてもICT環境を活かし、児童の学びを止めることなく継続させた。また、児童が1 人1台端末を使って情報を確認・入手・発信する学習スタイルも定着させた。このような 取組を令和6年度菊陽町教育実践発表会で発表し、「教育委員会賞」を受賞するなど、 町のICT教育において主導的な役割を果たしている。道徳科においてもICTを効果的に 活用した実践を行い、「熊本の心」授業づくり委員として「熊本の心」学習構想案を作成 した。

No.	氏名	学校名	職名	主たる 功績分野	功績の概要
8	白木 覚	菊池市立泗水 小学校	教諭	学習指導	●校内研修の充実及び授業改善に優れた指導力 平成28年度は菊池、平成29年度は水俣において、それぞれ地域・県主催の研究会 で授業を公開し、実践的な体育指導で教員の学びに貢献した。また、水俣では人権教 育にも力を注ぎ、水俣病を通した他者理解を促進し、学級づくりにも成果をあげた。近 年は、ICTを活用した国語授業で児童の思考を可視化し、協働的な学びの実現に取り 組んでいる。今年度は、研究主任として学校全体の授業力向上と教育研究の深化に尽 力している。さらに公開授業や自身が主催する校内自主勉強会を通じて、若手教員の 育成にも取り組んでいる。
9	小林 翼	大津町立護川 小学校	教諭	学習指導	●ICT活用に優れた指導力 前任校では、担任として児童を指導し令和2年度および令和4年度に「〈まもとICTコン テストICT活用指導部門」で最優秀賞を受賞し、令和3年度には全国学校図書協議会主 催「第1回情報活用コンクール」で優秀賞を受賞した。ICTを活用した教育実践が豊富で あり、児童が能動的かつ自立した学びを得ることができるよう授業改善を続けている。 児童への指導だけでなく、本校の校内研修では職員への指導も行うなど、情報教育の 推進において主導的な役割を果たしている。
10	山部 晋一	西原村立西原 中学校	教諭	学習指導	●学力向上に向けた優れた指導力 全国学力・学習状況調査及び県学力調査の結果を踏まえ、数学科における論理的思 考や表現力の育成に継続的に取り組んでいる。授業では、学習課題とまとめの整合 性、振り返りの徹底を重視し、生徒同士が教え合い・学び合う姿勢を育成している。これ まで、「熊本の学び」に関する授業研究を継続し、所属校はもとより阿蘇郡市中学校数 学研究会代表理事として管内の学力向上に貢献している。併せて、教職員と共に学ぶ 姿勢を持ち、校内研修等で成果を共有するなど、高いマネジメント力とリーダーシップに より、学力向上に向けて職員の意識を高めている。
11	岩永 光央	甲佐町立龍野 小学校	教諭	学習指導	●上益城郡内、校内の教科研究活動に貢献 令和3年度から郡小体連副理事を務め、郡内体育の年間教育課程等も作成するな ど郡内の体育指導に尽力している。また、社会科においても、本年度から、教科等社会 科部会の理事を務め、社会科教育のリーダーとなって郡内社会科教育の充実に向け 尽力している。さらに、甲佐町教育委員会の「甲佐町小中一貫教育推進」事業における 豊かな心育成プロジェクト部会の部会長として、町内の全児童生徒の心の育成を図る ために、町内全職員に共通実践事項を定め、リーダーとなって町内全児童生徒の「豊 かな心の育成」に尽力している。
12	紫垣 万里子	益城町立広安 小学校	教諭	関係機関連携	●幼保小連携に優れた指導力 9年間の幼稚園教諭の経験から幼保小の連携に強い関心をもち、低学年担任として、幼保小の連携を重視した指導を行っている。令和5年度末~6年度には、幼稚園と 小学校相互の連絡会や保育園年長児の授業参観などの情報交換を中心となって取り 組み、令和6年度には、県幼児教育シンボジウムでの実践報告資料の準備や県教育 委員会の「幼児期の終わりから小学校入学への『円滑な接続』に向けたくまもとスタン ダード」の改訂にも寄与した。その経験を基に、児童に保育園時の経験を聴きながら、 年長児が必要としていることを幼保小の連携や、授業へ生かしている。
13	鈴木 之教	八代市立郡築 小学校	教諭	生徒指導	●生徒指導に優れた指導力 勤務した複数の学校で生徒指導担当及びいじめ・不登校、問題行動の情報集約担 当として、管理職、担任と情報を共有し、児童や担任と個別面談を行うなどリーダーシップを発揮してきた。児童の学習や生活での規律を整えるため、校内での生活の決まりを 児童に考えさせ、学習態度や学び方を教えるため全児童が参加する学習集会を企画した。問題行動を起こした児童に対しては、共感的な言葉かけを継続して行い、児童の自己存在感、自己指導能力を育てている。令和7年度は、八代生徒指導連絡協議会の事務局として、八代地域全体の「開発的・予防的な生徒指導」の実現に尽力している。
14	吉永 美智子	芦北町立佐敷 小学校	教諭	学習指導	●児童の主体性を引き出す優れた指導力 前任校では、研究主任として複式授業における「学習ガイド」を作成し、学習リーダー を中心とした児童自らが学習を進める授業を展開した。その授業実践を「管内オープン 授業研修」において、芦北水俣地域へ公開した。本校へ赴任後も、前任校での実践を 単式学級にも生かし、児童の学ぶ楽しさを味わう姿や主体的に学ぶ姿を追究した授業 を日常的に行っている。また、学年主任として、若手職員へも積極的にアドバイスを行 い、学年全体の学力向上や、職員の授業力向上及び授業改善に貢献している。
15	池田 さやか	人吉市立第一 中学校	教諭	学習指導	●社会科を中心に「熊本の学び」の推進と優れた指導力 令和4・5年度に県教育委員会指定「熊本の学び」研究指定事業を人吉市立第一中 学校区で取り組んだ際には、研究推進に中核的に関わり、研究発表会では第1学年地 理の授業を公開した。令和6年度は、研究主任を務め、「熊本の学び」をさらに推進させ るともに、「令和6年度県中学校社会科教育研究大会」において第2学年歴史の授業 を公開した。令和7年4月に実施した市販問題による人吉市学力調査社会科では、2年 間学習指導を続けてきた学年が、全国の平均正答率を大きく上回った。

No.	氏名	学校名	職名	主たる 功績分野	功績の概要
16	洞口 典寛	天草市立亀川 小学校	教諭	学習指導	●生徒指導を中心としたすぐれた学級経営力と学習指導力 生徒指導を核とした優れた学級経営力で、児童が安心して学べる温かいクラスを築い ている。個々の課題に寄り添い、成長を促す指導は、児童の自己肯定感を高め、規範 意識を育んでいる。令和6年には、県生徒指導研究会で発表を行った。また、学習指導 においても、子どもを学びの主体とした授業づくりに励み、令和6年度文科省委託事業 LDXS事業において公開授業を行い、主体的・対話的で深い学びの授業実践を行っ た。また、令和6年、7年と天草市GIGA部会のメンバーとして、天草市の授業改善の取 組に大きく貢献している。
17	住田 美幸	苓北町立富岡 小学校	教諭	学習指導	●学習指導「聴き合う」「学び合う」学びの推進に優れた指導力 児童が主体的に「聴き合う関係」「学び合う関係」を重視した授業実践により、互いに 尊重し合う学級づくりを行っており、令和6年度県学力調査で全学年、平均を上回る結 果につながった。昨年度、学校で開催された第7回九州学びの会研究大会では、研究 主任として全学年の公開授業をリードした。本年度も、苓北町教育委員会指定研究指 定校としての授業実践の核となって研究を推進している。平成30年度には、天草教育 事務所主催の道徳実践研修会での授業公開を行うなど道徳教育の実践も優れてお り、前任校では研究主任として4年間小中連携教育の充実に寄与した。
18	後藤 裕市	熊本県立宇土高等学校	指導教諭	学習指導	●探究的な学びに優れた指導力 生徒の学びを中心に据えた探究の「問い」を創る授業の実践や、探究活動のプログラム開発とガイドブック・評価の開発に取り組んでいる。「生徒を学問の入り口へ案内する」ことを大事に、キャリア教育の観点も含め、様々な分野、関連機関等と連携した教育実践を行っている。併設型中高一貫教育校である本校の探究活動型授業及び探究活動の教育実践が日本児童教育振興財団ライブラリーで紹介された。過去3年間で27都道府県から学校訪問や授業見学を受けており、県内外での講演や職員研修の講師も数多く引き受けている。
19	堀内 雄大	熊本県立球磨 中央高等学校	教諭	関係機関連携	●地域に根ざした商業教育を中心とした優れた指導力令和6年度には、生徒が、廃棄される規格外のいちごで地元企業とアイスクリームを共同開発し複数企業と連携した販路を開発・拡大する取組等、実践的な学習を生徒に提供するとともに、生徒の主体性や協働力、課題解決能力を育む優れた指導を行なった。この取組により生徒商業研究発表大会において、全国大会出場を果たした。商品は錦町のふるさと返礼品に採用され、いちご農家の収入増や町の魅力発信にも貢献している。また、人吉球磨地域で唯一の女子サッカ一部顧問として積極的に活動しており、令和7年度は初任者研修の主査を務め、若手教師の育成に取り組んでいる。
20	田島 圭介	熊本県立熊本工業高等学校	実習教師	部活動	●部活動(野球)における優れた指導力 令和元年に野球部監督就任以来、限られた時間を有効活用するためのタイムマネジメントをチームで共有したり、短期的・長期的目標を明確化して高いモチベーションを持って活動したりする取組を行ってきた。その結果、夏の全国高等学校野球選手権大会に3回チームを導いた。伝統公立高校を牽引するためのチームマネジメントの方法を学び、他県高校野球連盟とも積極的に交流し学び得たものを生徒の指導に役立てている。また、自校で小学生対象の野球教室の企画や野球普及のための外部連携ボランティア活動にも生徒を積極的に参加させ、地域貢献活動にも力を注いでいる。
21	竹尾 範史	熊本県立玉名工業高等学校	教諭	特別活動	●工業科の専門性を活かした指導力 課題研究や部活動におけるものづくり教育を通して、生徒の興味関心を高め、専門力 向上を目指しており、生徒ととも19年間取り組んでいるエコ電カ一製作では九州大会で 15回優勝、全国大会でも優勝を果たした。「県工業高等学校生徒研究発表会」では大 学や企業訪問で新しい技術を学ばせ、最優秀賞を3回受賞した。「高校生ビジネスプラ ン・コンテスト」では、企業・大学等との連携・協働により女子生徒3名が発表し、審査員 特別賞(全国3位)を受賞する等、多くのアイデアと生徒主体の学習を行う企画をつくり、 特別な学習を行うことで、更なる意欲向上に繋げている。
22	髙下 鈴香	熊本県立熊本農業高等学校	実習教師	学習指導	●農業科指導に優れた教育実践 農業経済科の情報関係の科目では、パソコンの操作技術やデータの処理技術の向上に貢献している。生徒の状況に応じた柔軟な指導を実施し、学科生徒全員に高度なパソコン技術が身に付くよう指導に努めた結果、情報処理検定協会の各種検定で1級取得数6年連続日本一や全国パソコン技能競技大会で2位に入賞するなど、生徒の活躍に繋がった。また、科目「課題研究」では、令和2年度から廃棄花の活用についての研究を指導し、廃棄花をボトルフラワーやレジン雑貨に活用して商品化した。押し花の指導でも、「第21回全国高校生押し花コンテスト」では文部科学大臣賞を受賞した。

【教職員組織】

【教	職員組織】			
No.	教職員組織 名	構成員所属 学校名	主たる 功績分野	功績の概要
1	芦北町立湯浦 中学校教職員 一同	芦北町立湯浦中学校	学校防災	●主体的に判断し、安全なまちづくりに貢献する防災教育の推進 令和4・5年度県教育委員会「防災教育研究推進校」の指定を受け、「主体的に判断 し、安全なまちづくりに貢献できる生徒の育成」を研究主題に取組を行ってきた。「自助」 から「共助」「公助」に結びつける学習計画の作成、防災意識を高めるための学級活動 や授業と連動した避難訓練の実施、防災食づくりや避難所運営体験、学校行事やPTA 活動で保護者や地域の方と行う防災学習を通して、自然災害から自分や周りの人々、 地域を守ろうとする態度を育成してきた。現在も、実践的な避難訓練や防災学習を随時 見直しながら継続し、生徒一人一人の防災意識の向上につなげている。
2	球磨村立球磨 清流学園教職 員一同	球磨村立球磨清流学園	地域関係機 関連携	●地域防災活動への参画による児童生徒の主体性と協働性の育成 球磨村では、平成30年度から児童生徒や地域住民が関係機関と連携し、防災について学ぶ行事を実施しており、毎年参加している。学校においても防災学習を通して、児童生徒の主体性と協働性の育成や球磨村防災ブロック会議等へ学校職員及び児童生徒が参加し、地域及び関係機関との連携強化に努めている。令和6年度から県教育委員会指定「防災教育研究推進校」として、地域防災活動の中で、確かな知識や判断力、行動力等の資質、能力を地域住民と共に身に付けることに取り組んでいる。
3	上天草市立今 津小学校教職 員一同	上天草市立今津小学校		●児童一人一人を大切にした学習指導による学力向上 令和4・5年度に県教育委員会指定「人権教育指導方法工夫改善協力校」及び上天 草市教育委員会指定「生きるカモデル校」としての実践を生かし、全教職員が学校教 育目標や研究テーマの実現、学力向上に取り組んでいる。板書の構成を統一した可視 化、児童間の傾聴による共有化、教師の発問による授業めあての焦点化など徹底した 授業づくりや学力調査等の分析と活用により、基礎的・基本的な知識・技能の定着に努 めている。児童の行動目標を定め、各学級でも目標を定めて児童の取組を促すなど、 学習環境や学習基盤づくりに全校で意識した取組を行っている。
4	天草市立御所 浦中学校教職 員一同	天草市立御所浦中学校	その他(探 究学習)	●地域とICTで育む「探究する学び」 総合的な学習の時間に地域の自然や産業に関する学習を行っており、地域のイベントや博物館ガイドのボランティア活動にも取り組んでいる。令和5年度から探究的な学習を意識した取組を始め、御所浦近海の微生物研究で表彰された生徒もいる。さらに、令和6年度から「文部科学省委託事業リーディングDXスクール事業協力校」及び「天草市研究指定校」として、地域を題材とした個人探究と各教科での探究的な学習実践に取り組んでいる。ICTを効果的に活用し、地域の魅力を最大限に引き出す教育を行っており、地元企業とスイーツを商品開発するなど地域活性化にも貢献している。